



2023年1月10日

各 位

会社名 株式会社ビーアンドピー
住 所 大阪市西区江戸堀二丁目6番33号
代表者名 代表取締役社長執行役員 和田山 朋弥
(コード番号：7804、東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 清 水 明
(TEL. 06-6448-1801)

2022年10月期決算発表 質疑応答集

当社の2022年10月期決算に関して、発表以降に株主、投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想についてその内容と当社からの回答について、以下の通りお知らせいたします。なお、本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものです。決算内容の詳細については、2022年12月9日に開示しております決算短信および決算説明資料をご覧ください。

質問1：2022年10月期の業績好調のポイントを事業環境と自社努力に分けて教えてください。

回答：

2022年10月期の後半にかけ、新型コロナウイルス感染症による行動制限が徐々に緩和されたことにより、展示会やイベントの開催が増加し、関連の販促物の受注が回復いたしました。これに加え、企業の販促意欲の高まりもあり、当社を取り巻く事業環境は改善いたしました。こうした中、2019年に開設いたしました福岡営業所、及び、名古屋営業所における売上は順調に伸びてきており、また、事業拡大の取り組みとして開始したデジタルサイネージ等の新しいビジネスにおいて一定の成果がでてきたことが、好調な業績に貢献いたしました。

質問2：

2023年10月期の業績予想が前期の増益率よりも低くなっていますが、その理由を教えてください。

回答：

2023年10月期の業績予想における営業利益は、対売上高比を12.8%と2022年10月期と同程度としていることもあり、前期比8.8%増の見込みは通常程度の伸びと考えております。2022年10月期の業績はコロナ禍以前に戻るまでに好調であっただけに、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた2021年10月期に比べて増益率が大きくなったものです。

質問3：2023年10月期の業績予想について、上期、下期に分けるとどのような比重になるか教えてください。

回答：

今期は、シェア拡大、機能拡大、領域拡大の3つの成長戦略を実施してまいります。これに伴い、京都営業所の新設、中量・大量印刷に対応する体制の構築、デジタルサイネージにおける配信機能の拡張、オーダーグッズ制作事業の開始等を計画しております。今期下期には、これらの各施策の成果がより大きく今期業績に貢献してくることから、例年よりは下期の業績が伸張する計画としております。

質問4：新しく取り組む中量、大量産印刷ほどの程度収益貢献できますか。

回答：

これまでもお客様より中量・大量産の案件のお問合せはありましたが、当社としては、こうした受注をお受けする体制は構築してきておらず、お受けしてきませんでした。しかし、インクジェットプリントでの試作案件から量産対応までの体制を構築することは、当社においてはより幅広い受注を確保することが可能となり、お客様にとっては当社に一括発注できることでメリットが大きいと考えております。お客様からの問い合わせも増えており、従前より見込みがある領域のため、当社の業績拡大に大きな貢献が見込めるものとなります。

質問5：オーダーグッズ制作事業について展望を教えてください。

回答：

この事業は、当社が保有する技術や機械、また、ノウハウを大いに活用できるもので、当社の小ロット多品種生産能力の強みを活かして、新規領域へ展開するものとしてご期待ください。今後、進むべき具体的な道筋に従い、計画を着実に遂行し、早急に業績に寄与できるようにしてまいります。

以上